

第 3 回有識者会議 検証の総括に係る主な意見

No.	ご意見
1. リスクマネジメント	
	制度設計を見直すところまでこの有識者会議で議論するのは難しい。建築設計の可変性については事務局の説明で精一杯ではないかと思うが、施工段階で最も合理的なプロセスや仮利用まで考えることができるのではないかと。
	合意形成のあり方や意思決定の問題についてガバナンスと密接に関係しており、検証の再掲でもよいので教訓を活かすということを丁寧に記載していただきたい。
	震災復興という特殊事情をもう少し強調されるべきだと思う。
2. ガバナンスの強化	
	結局ガバナンスの問題がどうなのかである。最後に蓋を開けるまで将来の見通しは分かりませんでは困る。事業のフェーズごとに情報を共有し、客観的に示すことで組織内のトップが判断できるようなガバナンスが必要である。
	情報の開示・共有化と P D C A の仕組みについてきちんと記述しておいた方がよいと思う。
3. 人材育成と事前復興	
	行政内部の人材育成は大変重要だと思うので真剣に取り組んでもらいたい。大都市が共通して抱えている課題を解決できるよう他都市への職員派遣、人材交流を通して学びあう姿勢は重要である。
	住民の方や商店街の方についての記述がない。まちづくりの基本は住民にある。ガバナンスのところで行政と住民、事業者との情報共有から最終的な意思決定までを丁寧に整理いただきたい。
4. まちの可能性を活かす	
	地区の周辺に大型店・スーパーが出店しているのは事実であるが、地区内の回遊性型共同空間というコンセプトでもって周辺の大型店に対抗できるだけの競争力、魅力を創出することは不可欠である。
	地区内の商店街全体で集客するシステム、連携性をもって考えてもよい気がする。
	お金だけでなく地域内でさまざまなものの循環性を高めることが重要ではないかと思う。行政と地域のみなさんが一体となった大胆なまちづくりを展開できればよいと思う。例えば海外では B I D という負担者自治の仕組みが成功している。地域の中でこれまで居なかったタイプの人が化学反応を起こすきっかけとして活躍されるとよい。
	資料 4 事業の検証（案）と資料 5 検証から見えた課題と今後への提案（案）のつなぎとなる、まとめ、総括があると良い。海外の方も巻き込んだ神戸らしいアイデンティティが生まれると良いと思った。
	エリアの魅力を創出する上で、ビル管理だけではなく、例えばエリア全体のオープンスペースの共同活用や一体的な集客イベントの開催などは大変重要である。このエリアでの共同マネジメントを考えるなら、まずテーマを考えるところから始めて、それから徐々に地域の方の理解を獲得していく流れが大事だと思った。
	これからの新長田には大胆で、これまで日本になかったような仕組み、仕掛けが必要である。海外を含めた地域からの知恵を借りる提案ができると良い。

以上